

「スプリットなしのPP キャップ」

NEW!

- Made in Japan
- Exported to USA, EU and ASIA



- Made in USA
- Consumed in USA, and also exported to EU and ASIA



- 日本の PP キャップは「スプリット入り」で、ガラス壺に金属リングが残留しないように工夫されています。通常、輸出のお酒にも「スプリット入り」キャップがそのまま使用されています。
- 一方、アメリカ、英国、フランス、ドイツ、スペイン、ロシア、ブラジル、オーストラリアなどの酒類の PP キャップは、「スプリットなし」でリングが壺口に残留するのが一般的です。(リサイクル上、ガラス粉砕時に金属は分離されるので問題ない。)
- アジアでは「スプリット入り」を使用している国もありますが、英国製ウイスキー、米国製清酒などが、韓国、台湾、中国、シンガポールなどに輸出されるときは「スプリットなし」PP キャップのままです。また、日本を含む全世界で受け入れられているワインのステルヴァン・キャップも「スプリットなし」です。
- 「スプリットなし」に慣れていない欧米の消費者にとって、「スプリット入り」のキャップはなじみが薄く、「危ない印象」、「チープな印象」を与える場合があることが指摘されています。
- 「スプリット」に関するトラブルは、PP キャップのクレームの上位にあります。「スプリットなし」にすると管理も楽になります。

欧米向け輸出のために、汎用品「黒無地・スプリットなし」PP 30S キャップを準備しました。
(ごく薄いグレーで矢印が2か所に入っています。ライナーはPET 貼り)



- サンプルを提出いたしますので、ライン適性、キャッピング適性、開封性、フレーパー適性、キャップシール適性などをご評価のうえ、ご採用ください。
- ロゴ入りの一部を「スプリットなし」に加工することもいたします。ミニマムロットはご照会ください。「スプリットなし」の専用ツールに型替えて生産対応をするため、通常の「スプリットあり」にくらべて価格は若干あがります。また、納期も、通常品より余裕をいただきますことをご了解ください。

問い合わせ先：
大阪営業部：06-6731-0251
東京営業部：03-3851-5191

